

第48回

国民と広く連帯し、患者・地域住民と
医療・介護・福祉労働者の人権・いのちの尊厳を守ろう

医療研究 全国集会 WEB集会

6/12 ^{1日目} 土 **全体集会**
13:00開始～17:00終了

※YouTubeでの配信となります

6/13 ^{2日目} 日 **分科会**
10:00開始～16:00終了

※Web会議アプリ「Zoom」での開催となります

記念講演

「人権としての社会保障」
構築のための
取り組みと課題

村田 隆史(京都府立大学公共政策学部准教授)

基調フォーラム

コロナ禍における
医療・介護・福祉をめぐって

コーディネーター 横山 壽一(佛光大学教授)

パネリスト 長友 薫輝(三重短期大学教授)

曾我 千春(金沢星稜大学教授)

山崎 光弘(日本障害者センター理事)

- 1 地域医療と住民福祉の実態を知り、医療・社会保障のあり方を考える
- 2 看護ケアの連続性と質
- 3 日本の精神保健医療福祉の改善を目指して
- 4 患者のための臨床検査
- 5 病院・介護・福祉施設における給食の現状と職場環境改善
- 6 職場の安全衛生と環境改善
- 7 施設介護・在宅介護
※開催時間 13:30～16:30
- 8 わたしたちが大切にしたい保育
※開催時間 10:00～13:00

参加費:無料

参加申込み・レポートの応募はWEBサイトまで



主催

第48回 医療研究全国集会組織委員会 TEL03-3875-5871

日本医療労働組合連合会 <http://www.irouren.or.jp/>
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館3F

公益財団法人 日本医療総合研究所 <http://iryousouken.jp/>
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5 日本医療労働会館1F

YouTubeでの配信となります

記念講演 13:10~

「人権としての社会保障」 構築のための取り組みと課題

村田 隆史

(京都府立大学公共政策学部准教授)

専門は社会保障論。金沢大学大学院修了(博士(経済学))。社会福祉士。貧困問題を解決するための社会保障のあり方について研究している。中央社会保障推進協議会の社保入門テキストの作成にも携わっている。編著に『新版 基礎から学ぶ社会保障』(自治体研究社、2019年)。



基調フォーラム 14:30~

コロナ禍における 医療・介護・福祉をめぐって

- コーディネーター 横山 壽一(佛教大学教授)
- パネリスト 長友 薫輝(三重短期大学教授)
曾我 千春(金沢星稜大学教授)
山崎 光弘(日本障害者センター理事)

Web会議アプリ[Zoom]での開催となります

分科会 10:00~16:00

①地域医療と住民福祉の実態を知り、医療・社会保障のあり方を考える ~いのちが守られる地域、災害に強い地域をつくらう~

子どもから高齢者まで全世代に広がる貧困。医療・介護・福祉の現場はどれも人手不足。新型コロナで状況は深刻化し、豪雨や地震も起きています。そんな今こそ、どこでも、だれでも、新興感染症や災害からも、いのち・暮らし・人権が守られる社会、住み続けられる地域を考えましょう。コロナ禍の職場・地域の現状、患者・住民に寄りそうチャレンジ、国・地方の施策と地域の実態・課題を明らかにするレポートを募集します!

②看護ケアの連続性と質 ~コロナ禍であらためて安全、安心の患者、家族に寄り添う看護を考える~

これまでの効率最優先の医療提供体制の結果、コロナ禍により医療・社会保障体制の脆弱性が明らかとなりました。患者が安心して、その人らしく生活するためには施設を越えて連携することが不可欠です。コロナ禍だからこそ、改めて医療・福祉施設と地域の看護職・多職種でケアの意味と価値を共有し、患者にとって連続性のあるケアを考えましょう。

③日本の精神保健医療福祉の改善を目指して ~患者主体の改革とは~

日本と同様に精神医療改革が遅れていたベルギーではこの10年で改革が大きく前進した。改革の基本理念はリハビリ志向とコ・プロダクションを中心に据えた政策決定システムである。日本の精神医療改革は患者・家族中心と言うより病院・施設・専門職中心のサービスから脱する事が出来ず閉塞状態である。分科会では当事者を主体に据え関係者が共同した運動の取り組みをどう作るか議論したい。

④患者のための臨床検査

臨床検査の仕事で困ったことや不安なことはありませんか?そんな悩みを全国の仲間と語り合しましょう。問題解決への道が開かれる可能性があります。この分科会ではレポート報告と課題別討論(夜勤問題、採血問題、業務拡大、新型コロナウイルス関連等)を予定しております。不慣れたオンライン環境での開催のため、進行に不安はありますが、皆さんの参加とレポート報告をお待ちしています。

⑤病院・介護・福祉施設における給食の現状と職場環境改善

全国の医療機関・介護施設・福祉施設・セントラルキッチン・サテライトキッチンなど給食部門で働く仲間が、給食改善の実践報告・給食現場の職場環境改善問題について、レポート発表を通し全国の仲間と、給食現場での問題点や疑問点をみんなで話し合い、職場での改善に向け学び合い解決していける、そんな分科会です。嚙下食等の調理技術向上などの活動報告もしています。そんな医療研究集会にぜひ参加しませんか。

⑥職場の安全衛生と環境改善

医療・介護・福祉職場では、長時間・夜勤労働やハラスメントなど従来の労働安全衛生上の問題に加えて、新型コロナへの対応が職場をより困難な状況にしています。この分科会では、ハラスメント防止・メンタルヘルス対策や労災・腰

⑦施設介護・在宅介護 13:30~16:30

⑧わたしたちが大切にしたい保育 10:00~13:00

開催時間が異なりますので、
ご注意ください。

痛対策、長時間労働の解消など、職場の労働安全衛生委員会活動のレポート報告を軸に、コロナ禍での課題と対応についても交流し職場環境の改善にむけた討論を行います。

⑦施設介護・在宅介護

私たちには、「変える力」があります。「特養あずみの里」業務上過失致死事件裁判の逆転無罪。介護報酬改定の0.7%報酬引上げ。私たちが学ばなかったら、行動しなかったらこの結果を勝ち取ることはできませんでした。しかし、国が定める職員の配置基準など労働環境は改善されるどころか、国はICTやロボ導入により人手不足を解消しようとしています。さらに、3年ごとの報酬改定により経営基盤がおびやかされ、加算取得に振り回される介護労働に問題意識を持っています。同時に私たちは、利用者がその人らしく生きられるよう根拠に基づき支援しており、その専門性と普遍性に確信を持っています。

今回は、施設介護と在宅介護分科会を合同オンラインで開催します。今回は演題公募を行わず、指定報告や学習講演を準備しております。気軽に質疑応答ができるよう進行に配慮し、全国交流の新たな形を皆さんと一緒に作りたいと考えています。新型コロナウイルス対策、報酬改定により毎日があつという間に過ぎていく中、立ち止まって考える機会にしましょう。職場を、そして介護の未来を良くしていくために学び合いましょ。

【スケジュール・内容予定】

●13:30~16:30

●学習講演/指定報告①「特養あずみの里」業務上過失致死事件裁判②2020年「介護施設夜勤実態調査結果」③施設・報告④在宅・報告

⑧わたしたちが大切にしたい保育 ~院内保育所のあり方~

新型コロナの最前線で奮闘する医療従事者である保護者の方々の姿を身近で感じ、日々逼迫していく医療現場を目の当たりしながら、医療従事者が安心して働き続けられるためには、院内保育所がいかに重要な役割を担っているかということあらためて感じています。

再度、原点に立ち返り、院内保育所のあり方を問いながら、わたしたちが大切にしたい保育とは何か、より良い保育とは何かをともに考えてみませんか。コロナで疲弊きった今だからこそ、より繋がりを絶やさず情報を共有し合いましょ。ぜひご参加ください。お待ちしております!

【スケジュール】 ●10:00~13:00

分科会レポート募集中

医療研究集会の魅力は、集会2日目の分科会討論です。全国の経験を持ち寄り、テーマ別に「レポート」に基づく討論と交流を行います。

内容 分科会の問題提起に沿って日頃の実践をまとめてください。
※②看護ケアの連続性と質、⑦施設介護・在宅介護は、レポート募集は行っておりません。

提出先 第48回 医療研究全国集会組織委員会

※詳しくは医療研ホームページまで
<http://irouren.or.jp/conference/2021/>

締切 5月31日(月) 必着

